

教育調査 II

科目ナンバリング SOE-202
選択 2単位

谷村 英洋

1. 授業の概要(ねらい)

本科目では、量的調査(質問紙調査)を念頭におき、調査企画からデータ分析、レポート・論文執筆に至るまでの方法を学ぶ。社会調査士資格に関心がある学生だけでなく、卒業研究で質問紙調査を行いたい教育学部生など、対象を幅広く想定した科目である。

まず研究とはどのような行為かということから出発し、研究および質問紙調査の全体プロセスを把握する。それに続いて、自分の関心の特定から仮説の設定、質問の作成、サンプリング、実査後のデータ整備などを順を追って学習する。履修者は自分の関心に基づき、リサーチエッセション、仮説、調査方法、対象、質問等をまとめた調査企画書を作成し、学期末に発表する。

※社会調査士科目B

2. 授業の到達目標

- ・量的調査のプロセスの概略を説明できる
- ・サンプリング法、調査モード、質問紙の構成法とワーディング、データの整理に関する基礎知識を示すことができる
- ・自分の研究テーマに沿って調査企画書を作成することができる

3. 成績評価の方法および基準

授業内課題・授業外課題30%、調査企画書の作成と発表40%、期末試験30%

4. 教科書・参考文献

参考文献

大谷信介、木下栄二ほか 『新・社会調査へのアプローチ:理論と方法』 ミネルヴァ書房
轟亮、杉野勇編 『入門・社会調査法 第3版』 法律文化社

5. 準備学修の内容

リーディング、調査企画書の段階的準備、執筆を課す。

6. その他履修上の注意事項

グループでの実習などを通して体験的に学べるよう配慮します。また、各自の興味関心に基づいて調査企画を考えてもらいますので、自由な発想や日頃からの問題意識を持ち込んで受講してください。卒業研究の予行演習としての受講も歓迎します。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:質問紙調査のプロセス
- 【第2回】 研究・調査の企画をはじめ:リサーチエッセション、概念、仮説、質問紙調査の特性
- 【第3回】 プレインストーミングと先行研究レビュー
- 【第4回】 仮説の検証とは:理論仮説と作業仮説(LMSによるオンデマンド形式)
- 【第5回】 量的社会調査の諸方法:調査モード
- 【第6回】 質問紙の作成(1)質問文の作り方
- 【第7回】 質問紙の作成(2)質問紙の構成
- 【第8回】 調査企画の中間報告
- 【第9回】 サンプリング(1)サンプリングの種類、無作為抽出の理解(実習1)
- 【第10回】 サンプリング(2)無作為抽出の理解(実習2)、標本誤差、標本数
- 【第11回】 実査後のデータ整備(1)コード表、エディティング、コーディング、データ入力
- 【第12回】 実査後のデータ整備(2)データクリーニング、単純集計
- 【第13回】 仮説検証型論文の構成
- 【第14回】 調査企画書の発表
- 【第15回】 試験とまとめ